

四国圏広域地方計画の目次構成(案)

第1部 計画策定の意義と計画の性格

1. 策定の意義 2. 計画期間 3. 計画の性格

第2部 四国圏の発展に向けた基本方針

第1章 四国圏を取り巻く状況

- 第1節. 社会の潮流(人口減少・高齢化の急速な進行、災害・環境問題等の安全に対するリスク・不安の増大、産業技術の高度化・情報化の進展 等)
- 第2節. 四国圏の特徴(強み:美しい自然風景、独自の歴史・文化の存在 等 弱み:社会経済面・生活利便性面の格差とインフラ整備の遅れ 等)
- 第3節. 四国圏の課題

人口減少・高齢化が全国平均より早く進行する中での圏域の発展

- (1)災害や環境に対する安全・安心の確保
- (2)外部環境変化に対応した産業活性化の展開
- (3)豊富な地域資源の活用と魅力の創出
- (4)圏域内外における結びつきの強化
- (5)中山間地域・半島及び島しょ部等の活性化と都市における活力の向上

第2章 四国圏の将来像

第1節. 基本方針

地域の強みを活かし、圏域全体の連携によって自立的に発展する
「癒やしと輝きのくに」四国の創造

第2節. 四国圏の発展に向けた目標

- (1)安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国
～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～
- (2)地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国
～グローバル化を生き抜く産業群の形成～
- (3)歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国
～おもてなしの心あふれた癒やしの実現～
- (4)東アジアを始め、広域的に交流を深める四国
～進取の息吹を与える交流の創出～
- (5)中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国
～農山漁村と都市の共生～

第3部 四国圏の発展に向けた戦略的取組

第1章 安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国

- 第1節. 災害に強い地域をつくる
 - (1)東南海・南海地震等大規模災害発生時における被害の抑制と迅速な復旧
 - (2)災害時の交通・情報ネットワーク強化
 - (3)減災に向けた地域との相互連携と住民一人一人の防災に対する意識の高揚
 - (4)広域的な応援体制の構築
- 第2節. 自然・地球環境との調和を高める
 - (1)失われつつある自然との共生
 - (2)森林、農地、河川流域の適切な整備・保全と水資源の確保
 - (3)河川、海洋環境の保全や循環型社会の形成に向けた広域的取組の推進
 - (4)自然と地球にやさしい、暮らし方と事業活動の推進
- 第3節. 地域の暮らしの快適性を高める
 - (1)安全・安心な住生活環境づくり
 - (2)必要な社会基盤整備の推進
 - (3)地域づくりの担い手の育成と多様な主体が参加できる仕組みづくり

第2章 地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

- 第1節. 絶え間ないイノベーションにより世界に通用する産業を育てる
 - (1)イノベーション促進活動を牽引するコア企業の創出
 - (2)圏域内の連携による集積力の強化
 - (3)圏域外・世界との交流による新たな事業展開の推進
 - (4)地域の協働による産業人材の育成
 - (5)知的財産戦略の構築
- 第2節. 多面的成長力を持つ産業集積を高める
 - (1)異業種との連携等による新たな展開
 - (2)農林水産業の競争力の強化
 - (3)地域の特性・強みを活かした企業立地環境の整備

第3章 歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国

- 第1節. 美しい風土を形成し地域の魅力を高める
 - (1)美しい自然を舞台とした地域独自の風景づくり
 - (2)美しい自然・景観の保全と次世代への継承
- 第2節. 歴史・文化的資源を継承し地域の独自性を発揮する
 - (1)地域の歴史・文化の継承
 - (2)四国遍路をはじめ歴史・文化を活かした新たな魅力の創造

第4章 東アジアを始め、広域的に交流を深める四国

- 第1節. 東アジア・世界との交流を活発化する
 - (1)国際ゲートウェイ機能の強化
 - (2)戦略的な情報発信・PRの強化
- 第2節. 環瀬戸内圏や全国との交流を活性化させる
 - (1)交流を支える四国内外とのネットワークの強化
 - (2)四国圏の地域資源等の魅力の全国への発信
- 第3節. 圏域内の交流を活性化させる
 - (1)各都市の魅力向上と相互連携の強化
 - (2)圏域内における経済・観光・暮らしを支える交通ネットワークの強化
 - (3)都市と中山間地域等との交流促進

第5章 中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国

- 第1節. 農山漁村(中山間地域等)の暮らしと環境を支える
 - (1)安心して暮らしやすい農山漁村の形成(日常生活の利便性向上)
 - (2)地域の魅力向上
 - (3)農林水産業の活性化
- 第2節. 都市の魅力・快適性を高める
 - (1)集約型都市構造の実現と都市機能の充実
 - (2)多様な主体が参加できる個性あるまちづくり

第4部 広域プロジェクト

1. 安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国

- (1)「強い四国」災害対策プロジェクト
- (2)「緑の島四国」の環境を守る美しい森林づくりプロジェクト
- (3)清流とうるおいの水資源プロジェクト
- (4)豊かで美しい瀬戸内海環境保全・利活用(瀬戸内・海无路ネットワーク)プロジェクト
- (5)「地球に優しい省資源・物質循環型四国圏」プロジェクト
- (6)地域医療・子育て支援プロジェクト

2. 地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

- (7)産業ネットワーク・クラスター形成プロジェクト
- (8)産業人材育成プロジェクト
- (9)地域資源を活用した「四国の食」プロジェクト
- (10)農林水産業競争力強化プロジェクト

3. 歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国

- (11)「四国霊場八十八箇所とお遍路文化」を核とした地域振興プロジェクト
- (12)瀬戸内海広域観光推進プロジェクト

4. 東アジアを始め、広域的に交流を深める四国

- (13)国際ゲートウェイ機能の拡大・強化プロジェクト
- (14)「国内を身近に」交流・連携プロジェクト
- (15)「四国はひとつ」交流・連携プロジェクト

5. 中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国

- (16)中山間地域等活性化プロジェクト
- (17)四国における都市機能の強化・集約化プロジェクト

第5部 計画の推進に向けて

計画の進行管理、他圏域との連携、主体的参加と協働の仕組みづくり